

現状 1 地域の現況と人口推計

(1) 位置と地勢

川西小地域は、阪急電鉄宝塚線、能勢電鉄、JR 福知山線と3つの鉄道が通り、阪急バス川西バスターミナル、阪神高速道路川西小花ランプがあり、東西には国道176号と中国縦貫自動車道が、南北には県道尼崎池田線が通っているなど、川西市の交通の結節点となっています。また、地域の東側には、猪名川が流れています。



(2) 人口と世帯

人口は、平成17年の14,020人から平成22年の14,248人まで5年間で1.6%増加しました（全市では、0.1%増加しています）。

年齢別人口割合は、35～39歳、40～44歳が最も多くなっています。

【左下図】

世帯数は、平成18年が5,989世帯、平成23年が6,433世帯と5年間で7.4%増加しています（全市では6%増加しています）。

地域の将来人口を推計すると、10年後の平成34年にはおおむね13,600人となり、5%ほど少なくなる可能性があります。【右下図】



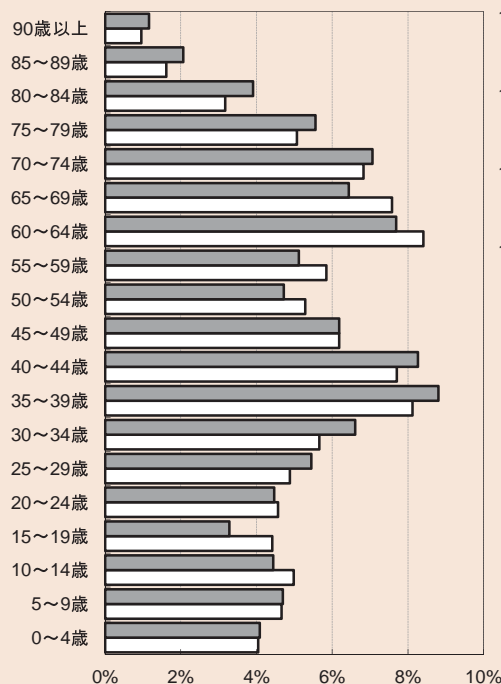
めざす地域像

川西小地域は、川西市の玄関口にあたり、商業施設、公共施設が集積し、交通ターミナル機能を備えています。あわせて駅周辺には中高層住宅、その周辺には戸建て住宅が建ち並び、利便性の高い地域となっています。

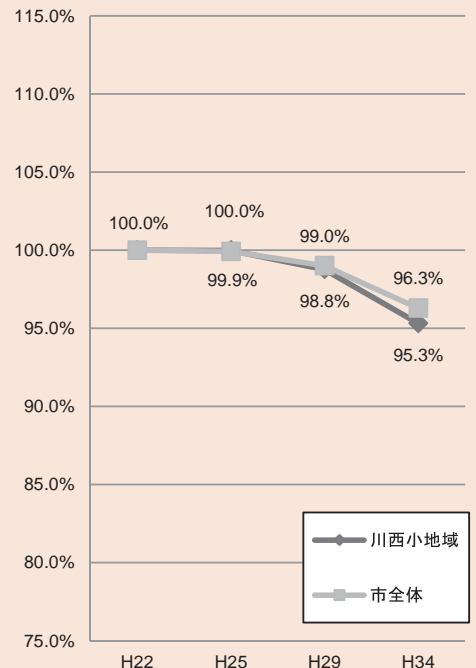
また、都市的な魅力以外にも五月山や猪名川の美しい風景を楽しむことができる地域です。

今後は希薄になりがちな都会のコミュニティの活性化を図りつつ、絆のもとで安全・安心のまちを築きます。

人口構成



将来人口推計

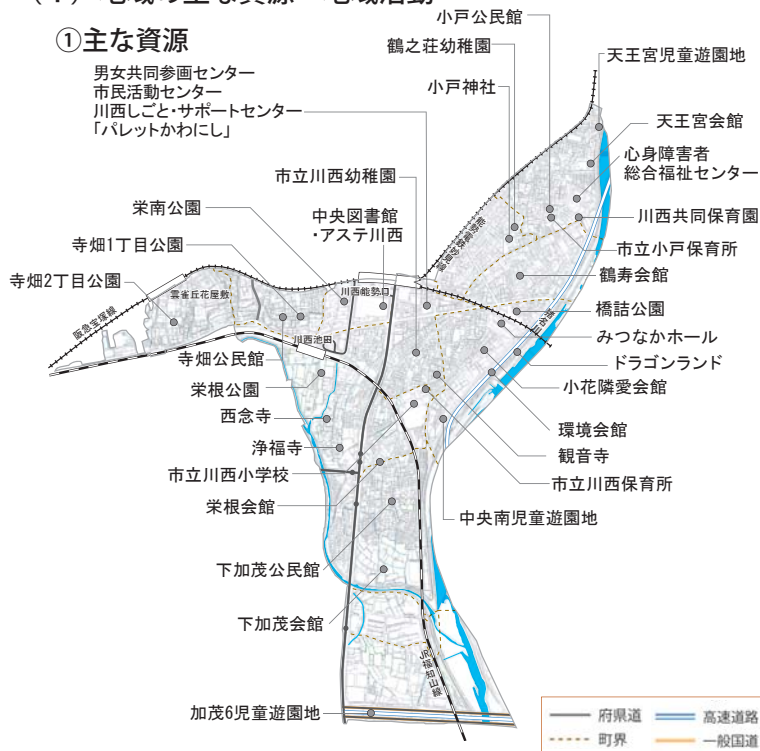


人口全体を母数とする割合で表示
上段：川西小地域 下段：市全体
(H23 住民基本台帳)

(住民基本台帳ベース)

現状 2 地域の主な資源・地域活動と意識

(1) 地域の主な資源・地域活動



(2) 市民意識調査（川西小地域集計）

①定住意向

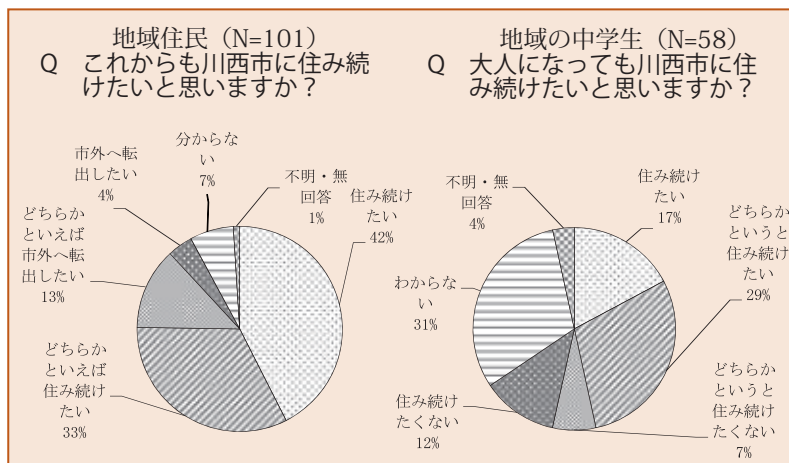
「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と答えた地域住民は、75%となっています。

一方で、中学生は46%となりました。

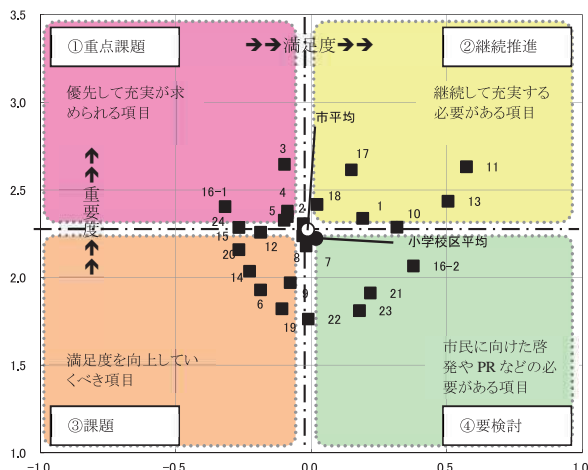
②施策の重要度・満足度

重点課題として「高齢者の支援」「交通施設の整備」が挙げられています。

また、継続推進すべきこととして「防災力の向上」「省資源・リサイクル」などが挙げられています。



①重点課題	②継続推進
2.地域福祉の推進	1.健康づくりの支援
3.高齢者の支援	10.環境の保全
4.障がい者の支援	11.省資源・リサイクル
5.子育て支援	13.上水道の安定供給
12.公園・みどりの整備	17.防災力の向上
16-1.交通施設の整備	18.生活安全の推進
24.効率的な行財政の運営	
③課題	④要検討
6.低所得者福祉	16-2.公共交通の利便性向上
7.学校教育環境の整備	21.観光の振興
8.青少年の育成	22.共感・共生のまちづくり
9.生涯学習・文化の振興	23.参画と協働のまちづくりの推進
14.都市計画の推進	
15.市街地整備	
19.産業の振興	
20.労働環境の向上	



地域の課題とありたい姿

地域別懇談会で議論された主な内容

地域別懇談会のワークショップで議論された意見をもとに、川西小地域のありたい姿と課題を生活のテーマ（第5次総合計画における「暮らし」「安全安心」「生きがい」「つながり」の4つ）に整理・集約すると、次のようになります。

暮らし

◆…主な課題…◆

- ・未整備道路の改良、狭あい道路対策など交通環境の向上が必要である
- ・交通事故の危険性が高い道路において、子どもや高齢者の安全性を確保する必要がある
- ・少子高齢化、人口減少、商業の低迷などを食い止め、地域全体の活力を高める必要がある

◆…地域のありたい姿…◆

- ・市民も事業者も自分たちが暮らす地域を大切にすまちにしたい
- ・利便性を高めるなど、様々な条件を向上させることで人が集まる活気のあるまちにしたい

安全安心

◆…主な課題…◆

- ・高齢者がいきいきと暮らせる環境を整える必要がある
- ・防犯や災害に対する意識を向上させる必要がある
- ・ごみのポイ捨てやペットの世話など、日々の暮らしにおけるマナー向上が必要である

◆…地域のありたい姿…◆

- ・高齢者が安心して、いきいきと暮らすことができるまちにしたい
- ・防犯、交通安全、防災面など、誰もが安全で安心できるまちにしたい

生きがい

◆…主な課題…◆

- ・子どもたちを安心して遊ばせる空間が少ないため、公園や児童館等の関連施設を充実する必要がある

◆…地域のありたい姿…◆

- ・子どもがのびのび遊ぶことができる場所や公園があるまちにしたい
- ・小戸神社などの歴史や文化を子どもたちに継承できるまちにしたい
- ・高齢者の知識・能力を発揮できる場があるまちにしたい

つながり

◆…主な課題…◆

- ・近所づきあいの希薄化や自治会活動の低迷が進んでいるため、地域コミュニティを活性化する必要がある
- ・校区間、マンションと戸建てなどの地域のつながりの強化や、高齢者・働き盛り世代・子どもなどの世代間のつながりを強める必要がある
- ・若い世代の自治会・コミュニティへの参加を進める必要がある

◆…地域のありたい姿…◆

- ・子どもの笑顔や地域の人々の交流があふれた、地域のふれあいを常に感じられる暮らしがしたい
- ・近所づきあいがうまくいき、地域のコミュニティがしっかりとしているなど地域のつながりを大切にす
るまちにしたい
- ・祭りやイベントなど地域の交流を育む市民活動が活発なまちにしたい

地域のありたい姿を実現するための取り組み

地域別懇談会で検討された主な内容

地域別懇談会のワークショップで議論された、川西小地域のありたい姿を実現するための地域の取り組み内容を整理すると、次のようになります。

暮らし

- ・交通マナーの徹底啓発
- ・公園の使用方法の見直し
- ・自動販売機を減らす

安全安心

- ・自治会での安全パトロール、夜間の見回りの強化
- ・川の駅をつくる（猪名川沿い）
- ・地域での清掃活動の推進

生きがい

- ・子どもが参加できる事業を増やす
- ・会館開放の新しいルールづくり
- ・歴史的行事を通して文化を子どもたちに伝えていく
- ・猪名川（中橋絹延橋間）にボートを復活させる

つながり

- ・あいさつ運動、声かけ運動の実施
- ・人材と人財の自治会研修、啓発の実施

市の主な関連する施策（参考）

- ・施策 2 道路や橋りょうの安全性・機能性を高めます
- ・施策 3 交通安全の施設整備と啓発を行い、交通事故を減らします
- ・施策 4 公園を利用しやすくします
- ・施策 10 ふるさと団地の再生を推進します
- ・施策 11 商工業を振興します
- ・施策 21 高齢者に必要なサービスを提供するとともに、要介護状態を予防・改善します
- ・施策 22 高齢者の生きがいづくりや社会参加を促進します
- ・施策 25 地域の防災力を高め、災害時に迅速に対応します
- ・施策 27 生活安全の向上を図ります
- ・施策 28 豊かな自然環境を次世代へ継承します
- ・施策 29 快適な生活環境を守ります
- ・施策 30 循環型社会の形成を促進します
- ・施策 31 子どもの健やかな育ちを実現します
- ・施策 39 市民の学びを通して地域社会を支えます
- ・施策 40 ふるさと川西の文化遺産を保存・継承・活用します
- ・施策 44 市民公益活動の発展に向けた取り組みを支援します